



人間を救うのは、人間だ。



# 令和6年度 事業報告



日本赤十字社 香川県支部  
Japanese Red Cross Society

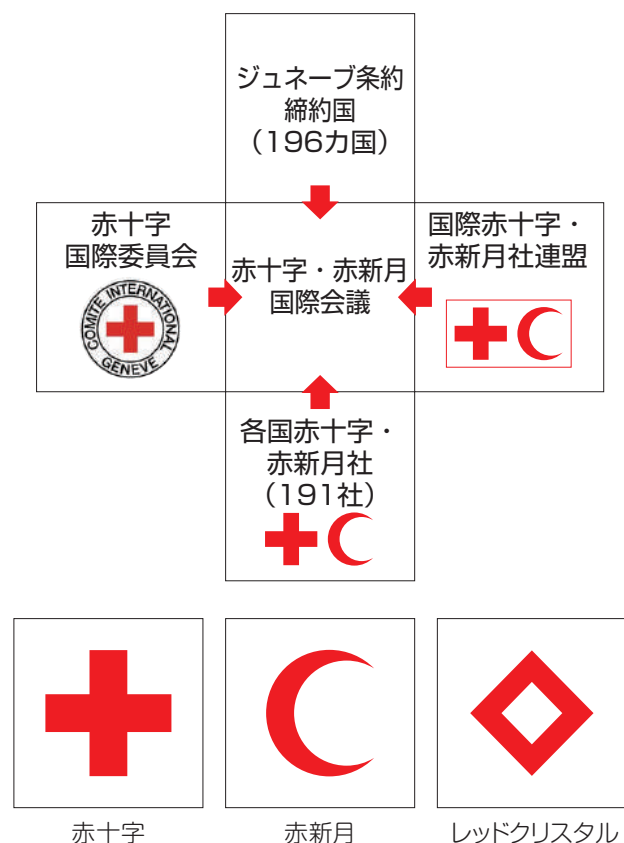
## 赤十字のはじまり

1859年6月、スイス人アンリー・デュナンは、イタリア統一戦争の激戦の地ソルフェリーノにほど近いカステリオーネで、戦野に放置されていた傷病兵の悲惨なありさまを目のあたりにしました。そこで、デュナンは、「傷ついた兵士は、もはや兵士ではない、人間である。人間同士として尊い生命を救わなければならない。」との思いを抱き、住民に協力を呼びかけ、敵味方の区別なく救護につとめました。この時の思い出をつづったデュナンの一冊の本「ソルフェリーノの思い出」がきっかけとなって、1863年2月、ジュネーブに赤十字国際委員会が、また1919年5月には平時活動を担当する国際赤十字・赤新月社連盟が創設されました。

## 赤十字の標章

赤十字の標章（マーク）は、1863年の国際会議において、赤十字の創始者デュナンの祖国スイスに敬意を表し、スイス国旗の配色を反転させ、「白地に赤十字」と決められています。現在ではイスラム教国の多くは、「白地に赤い三日月（赤新月）」のマークを使っていますが、これも赤十字と全く同じ組織であることを示すマークとして認められています。この標章は、保護の標章として戦時において、軍の衛生部隊に所属する人、建築物、施設、車両及び資材等に付し、これらを攻撃の対象としてはならないと決められています。

また、表示の標章として、赤十字社の建築物、車両、出版物等に付し、赤十字の目的を達成するために使用されています。これらの標章の使用は、国際法「ジュネーブ条約」さらに国内法（日本の場合は「赤十字の標章及び名称等の使用の制限に関する法律」昭和22年法律第159号）で厳しく制限されています。



## 国際赤十字・赤新月運動 の基本原則

(第20回赤十字国際会議 (1965年、ウィーン) 決議第8  
(改正: 第25回赤十字国際会議 (1986年、ジュネーブ) 決議第31)

**第20回赤十字国際会議は、赤十字の活動の基礎である次の基本原則を宣言する。**

### 人 道

国際赤十字・赤新月運動（以下、赤十字・赤新月）は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的および国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字・赤新月は、すべての国民間の相互理解、友情、協力および堅固な平和を助長する。

### 公 平

赤十字・赤新月は、国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字・赤新月はただ苦痛の度合いにしたがって個人を救うことに努め、その場合もっとも急を要する困苦をまっさきに取り扱う。

### 中 立

すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字・赤新月は、戦闘行為の時にずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも政治的、人種的、宗教的または思想的性格の紛争には参加しない。

### 独 立

赤十字・赤新月は独立である。各国の赤十字社、赤新月社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字・赤新月の諸原則にしたがって行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

### 奉 仕

赤十字・赤新月は、利益を求めない奉仕的救護組織である。

### 単 一

いかなる国にもただ一つの赤十字社あるいは赤新月社しかありえない。赤十字社、赤新月社は、すべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

### 世 界 性

赤十字・赤新月は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社、赤新月社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。





# CONTENTS



1 全国赤十字大会…………… 1

2 赤十字会員と活動資金の状況…………… 1

3 災害救護…………… 2

4 国際活動…………… 8

5 救急法等の講習…………… 9

6 赤十字奉仕団……………15

7 青少年赤十字……………19

8 医療事業……………23

9 血液事業……………25

10 赤十字思想の普及……………26

11 香川県赤十字有功会……………27

12 評議員会……………28

13 決算概要……………28







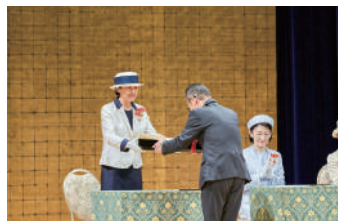
# 全国赤十字大会

令和6年5月15日（水）東京都渋谷区の明治神宮会館に名誉総裁皇后陛下並びに名誉副総裁各妃殿下ご臨席の下、全国から約1,500人の赤十字会員やボランティアが集い、全国赤十字大会が開催されました。

香川県からは、奉仕団委員長等29名の代表者が参会しました。

## ●大会次第

- プロローグ  
活動記録「赤十字この一年」上映
- 式典
  - ・有功章ご授与
  - ・社長表彰
  - ・厚生労働大臣祝辞
  - ・実践活動の報告  
「令和6年能登半島地震における金沢星稜大学 学生赤十字奉仕団の取り組みについて」  
（大久保 百茄／金沢星稜大学学生赤十字奉仕団）  
「イスラエル・ガザ人道危機 いのちをつなぐ赤十字の活動」  
（川瀬 佐知子／大阪赤十字病院 看護部 看護係長）



## 赤十字会員と活動資金の状況

「会員」とは赤十字の活動や理念にご賛同いただき、赤十字の活動資金を納入される方のことです。

「日本赤十字社は、会員をもって組織する」のとおり、赤十字の活動は多くの会員によって支えられています。

令和6年度においても、「人間を救うのは、人間だ。」を赤十字運動標語として掲げ、5月の「赤十字会員増強運動月間」を中心に地区・分区及び赤十字奉仕団等との円滑な協力関係のもと、県内一円で会員増強運動を展開しました。

## ●会員の状況

年 度	会 員 数		
	個人(人)	法人(社)	合計会員数
令和2年度	53,396	3,829	57,225
令和3年度	51,151	3,691	54,842
令和4年度	51,344	3,316	54,660
令和5年度	45,958	3,378	49,336
令和6年度	47,407	3,102	50,509

## ●活動資金の実績状況

年 度	実 績 額(円)			目 標 額(円)
	個 人	法 人	合計額	
令和2年度	126,646,963	41,930,067	168,577,030	146,000,000
令和3年度	152,582,737	42,600,311	195,183,048	146,000,000
令和4年度	134,580,946	40,051,814	174,632,760	146,000,000
令和5年度	140,628,704	40,186,629	180,815,333	146,000,000
令和6年度	139,978,570	34,665,680	174,644,250	146,000,000



会費募集の風景（善通寺市）



活動資金の贈呈式



赤十字活動支援自販機の設置





# 災害救護

災害にあった人々の救護は、日本赤十字社本来の使命に基づいた最も重要な事業の一つです。

昭和22年制定の災害救助法により、日本赤十字社は災害に際して救助の協力を義務づけられ、さらに昭和36年制定の災害対策基本法では日本赤十字社を指定公共機関として指定し、災害救護に対する準備体制を確保しておくよう定められています。

当支部では、これらの法律に基づく規則や計画に従い、常備救護班を編成し、有事即応の体制を整えるほか、救護員訓練などにより、医療救護活動の実施に万全を期するとともに、赤十字奉仕団、防災ボランティアの協力のもと、幅広い救護活動の展開が可能となるように努めました。

## 救護班

常備救護班として8個班を、県内赤十字施設（高松赤十字病院・香川県赤十字血液センター）との連携のもとに編成しており、災害の規模に応じて必要な救護班を派遣できるようにしています。この救護班の編成基準と要員確保状況は、次のとおりです。

### ●救護班の編成（1班7人編成 8個班）

（単位／人）

区分	職種	医師(班長)	看護師長	看護師	薬剤師	主事	合計
1個班の編成基準		1	1	2	1	2	7
常備要員数		8	8	16	8	16	56

※必要に応じて、助産師・特殊要員を加えます。また、血液供給要員3人、災害対策本部支援員2人を任命しています。

### ●dERUチームの編成（1チーム14人編成 4チーム）

（単位／人）

区分	職種	医師	看護師長	看護師	薬剤師	助産師	主事	合計
1チームの編成基準		2	2	4	1	1	4	14
常備要員数		8	8	16	4	4	16	56

※医師のうち1名がチームリーダー、主事のうち1名がサブリーダーとなります。



### ●災害救護活動

「令和6年能登半島地震」、「令和6年9月能登半島大雨」災害に対する対応

令和6年1月に発生した能登地方を震源とする地震に対する支援を続ける中、9月には被災地石川県を大雨が襲い、再び甚大な被害をもたらしました。

多くの人々が日常を奪われ避難所生活を送る中、日赤は発災直後から救護班の派遣や救護物資の配布などを行い、現在もきめ細やかな被災者の支援活動を継続しています。



#### ○こころのケアチーム（山口・香川・愛媛 合同班）

救護班員／主事1人（愛媛から看護師2人、山口、香川から主事1人ずつ）

派遣日時／4月2日（火）～4月8日（月）

活動場所／市立輪島病院、輪島市役所、石川県支部

#### ○被災者支援活動

派遣要員／5人（香川県赤十字奉仕団“ほっと”4人、支部職員1人）

派遣日時／令和7年2月21日（金）～2月23日（日）

活動場所／能登町 柳田地区仮設住宅 集会所（やなぎだ第1～第3）

活動内容／リラクゼーション（足湯、ハンドケア等）、健康体操などの健康増進やコミュニティ形成に繋がる活動等





## 災害義援金の取扱状況

国内の災害に対する義援金が当支部に次のとおり寄せられました。

令和6年能登半島地震災害義援金	(398件)	35,062,542円
令和6年7月25日からの大雨災害義援金	(19件)	181,082円
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	(96件)	7,332,103円
令和6年沖縄県北部豪雨災害義援金	(4件)	75,029円
令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	(15件)	403,525円
(合計)	(532件)	43,054,281円



## 災害等による被災者の援護

公益財団法人JKA、全日本遊技事業協同組合連合会の補助金により整備した毛布、緊急セット及び安眠セットを支部倉庫に備蓄するとともに、地域の実情を踏まえて各地区・分区にも分置しています。その他バスタオル、ブルーシートなど、救援物資の効果的な備蓄に努めました。また、応急援護として火災等の被災者の方々に対して、見舞金や弔慰金を贈っています。

### ●災害救援物資の備蓄状況（令和7年3月31日現在）

品名	地区別	令和5年度末 備蓄数	本年度増減数				令和6年度末 備蓄数	備蓄場所	
			本社から受入	他県へ管理換	県内へ配分	転用		支部	地区等
毛布(枚)		3,960	80	0	59	0	3,981	3,440	541
緊急セット(個)		908	30	0	25	0	913	810	103
安眠セット(個)		832	0	0	1	0	831	750	81
バスタオル(枚)		822	0	0	0	0	822	650	172
ブルーシート(枚)		593	0	0	0	0	593	540	53
タオルケット(枚)		1,990	0	0	0	1	1,989	1,989	0



#### 緊急セット 《1世帯(4人分)》

- ・タオル
- ・軍手
- ・歯ブラシ
- ・携帯ラジオ
- ・懐中電灯
- ・その他20点



#### 安眠セット

- ・マット
- ・耳栓
- ・枕
- ・スリッパ
- ・アイマスク
- ・靴下

### ●火災等による被災者や避難所への避難者に対し、次のとおり救援物資を贈りました。

品名	地区別	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
毛布(枚)		18	5	2	0	7	0	19	1	1	3	3	59
緊急セット(個)		10	4	4	0	2	1	1	1	1	0	1	25
安眠セット(個)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1

### ●火災等による被災世帯や死亡者に対し、次のとおり見舞金等を贈りました。

(単位/千円)

品名	地区別	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
災害見舞金		240	20	80	0	80	100	20	20	20	0	60	640
弔慰金		100	20	0	0	20	80	20	0	0	0	40	280
中国帰国者見舞金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		340	40	80	0	100	180	40	20	20	0	100	920



## 救護員の養成

行 事 名	月 日	参 加 者	人数	場 所	内 容
救護員任命式	4月12日(金)	赤十字救護員	45	高松赤十字病院	
救護員研修会	4月12日(金)	赤十字救護員、指導者	37	高松赤十字病院	国内型緊急対応ユニット(dERU)について
支部・施設合同 救護員主事対象 研修会	5月 8日(水)	赤十字救護員、指導者 (主事・ロジスティックス)	18	日本赤十字社 香川県支部	ステップ2研修(救護業務実習) クロノロジー、EMIS、J-SPEED 実習 他
こころのケア研修	7月 5日(金)	赤十字救護員、指導者	38	高松赤十字病院	講義(日本赤十字社のこころのケア、災害時の ストレスとストレス反応、被災者のケア、救護員の ケア)、グループワーク、ロールプレイ
支部・施設合同 赤十字救護員 基礎研修会	9月19日(木)	赤十字救護員候補者・ 研修医、指導者	60	高松赤十字病院	講義(赤十字の災害救護内容・法的根拠、災害 医療概論、救護業務で活用するシステムや診療 録)、救護所設営机上演習
	10月11日(金)	赤十字救護員候補者・ 研修医、指導者	58	香川県 青年センター	基礎行動、救護資機材取扱(担架・簡易ベッド・ 発電機・医療資機材)、救護所設営(エア Tent・ パイプ Tent)、トリアージ、救護シミュレーショ ン(救護所診療、避難所巡回診療、避難所アセス メント)



●国内型緊急対応ユニット dERU (大規模災害等が発生した時に迅速に被災地域に搬入できる自己完結型の緊急仮設診療所) 操作研修の実施

行 事 名	月 日	参 加 者	人数	場 所	内 容
救護員 実践研修会	6月14日(金)	赤十字救護員、指導者	57	香川県 青年センター	救護所運営シミュレーション、dERU救護所の 設営、救護所レイアウト、資機材取扱い、トリ アージ、情報管理、救護に必要な技術の習得



## 日本赤十字社中国・四国各県支部合同訓練・研修会への参加

行 事 名	月 日	参 加 者	人数	場 所	内 容
中国・四国各県 支部合同 災害救護訓練	11月8日(金) ～9日(土)	支部本部要員	3	日本赤十字社 山口県支部	支部災害対策本部の設置・運営・受援準備 県支部の支援要員を含めた支部災害対策本部 の運営 全社統合情報システム等を活用した情報共有
全国赤十字 救護班研修会 (本社・ 第5ブロック共催)	令和7年 2月22日(土) ～23日(日)	赤十字救護員、指導者	12	日本赤十字社 広島県支部、 日本赤十字社 中四国ブロック 血液センター	救護活動及び体制、広域災害・遠隔地派遣、 安全管理、支援と受援、EMIS、J-SPEED、ク ロノロジー、二次トリアージ、病院支援、避難 所支援、救護班の活動報告





## 他機関の防災訓練等への参加

行 事 名	月 日	参 加 者	人数	場 所	内 容
孤立集落等への 支援物資輸送訓練	8月 6日(火)	支部本部要員	2	多度津町 高見島	救護物資の船舶による輸送、 応急手当講習
香川県石油コンビナート 総合防災訓練	10月16日(水)	赤十字救護員	9	ライオンケミカル 株式会社 オレオケミカル事務所	救護所開設、トリアージ、応急 医療、負傷者搬送
香川県総合防災訓練	10月27日(日)	赤十字救護員 救護員候補者(日赤看護師) 赤十字防災ボランティア	69	香川県消防学校	dERU運用、救護所開設、トリ アージ、応急医療、負傷者搬 送、無線交信
中国・四国ブロック 緊急消防援助隊 合同訓練	11月10日(日)	赤十字救護員 来賓他	16	香川県消防学校	dERU運用、救護所開設、トリ アージ、応急医療、負傷者搬送



## 赤十字防災ボランティアの養成

災害救護活動のノウハウを習得し、災害時等に日本赤十字社が行う活動(情報収集、炊き出し、救援物資の輸送・配布など)や個人や民間レベルでの助け合い活動を行う赤十字防災ボランティアを養成しました。

## ●香川県赤十字防災ボランティア活動状況

登録人員(団体) 232人(個人登録) 2団体(団体登録)

行 事 名	月 日	参 加 者	人数	場 所	内 容
防災ボランティア 基礎研修会	6月 8日(土)	赤十字防災 ボランティア等	68	香川県社会福祉 総合センター	赤十字防災ボランティア活動のガイドライン の説明 能登半島地震における災害ボランティア活動 について(県社協) ボランティアとこころのケア 非常食の炊き出し、災害時に役立つ応急手当
防災ボランティア 実践研修会	令和7年 1月25日(土)	赤十字防災 ボランティア等	54	香川県社会福祉 総合センター	グループワーク:家具安全対策ゲーム(自助) ひなんじょたいけん(共助) 実践実習:無線操作、応急手当、ロープワーク



## 臨時救護

津田の松原海水浴場等6か所に救護員等延べ10人を派遣し、  
負傷者14人の手当てをしました。

- ・幼稚園まつり
- ・中国四国管内警察柔道大会・剣道大会
- ・津田の松原海水浴場
- ・青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター
- ・香川県障害者スポーツ大会
- ・四番丁地区敬老会



## 「赤十字地域防災セミナー」の実施

大規模災害から人々のいのちを守り、その被害を最小限に抑えるためには、日頃から防災・減災に取り組むとともに、災害発生時には、地域の人たち自らが迅速かつ確に対応し、速やかに復旧・復興につなげることができる強靱な地域コミュニティが重要です。

このため、地域コミュニティにおける防災教育の一層の普及推進を図る場として、赤十字地域防災セミナーを開催しました。

### 体験内容

- 災害ボランティアセンター運営訓練
- ドローイングチャレンジ
- クロスロードゲーム
- 災害エスノグラフィー
- 災害に役立つ応急手当
- 避難所運営ゲーム
- その他(气象台等の基調講演 家庭内DIG)

月 日	地 域	対 象 者	人数
6月 9日(日)	三木町	町内会員・自治会員	50
6月15日(土)	高松市二番丁	町内会員・自治会員	30
8月 4日(日)	満濃南小学校区	児童・奉仕団員	50
8月24日(土)	東かがわ市前山	町内会員・自治会員	35
8月28日(水)	東かがわ市	食生活改善推進協議会の会員	35
9月 4日(水)	まんのう町四条	奉仕団員、地域住民	32
9月24日(火)	高松市山田ブロック	奉仕団員	25
9月29日(日)	さぬき市多和東部	自主防災会員、地域住民	35
10月19日(土)	東かがわ市大川	町内会員・自治会員	75
10月20日(日)	高松市弦打	町内会員・自治会員	20
10月26日(土)	丸亀市飯山北	奉仕団員・自治会員	30
11月15日(金)	高松市東部ブロック	奉仕団員	36
12月 7日(土)	まんのう町長炭	奉仕団員、地域住民	26
12月13日(金)	三豊市上高野	自主防災会員、地域住民	17
12月21日(土)	小豆島町 (西村、草壁、安田、苗羽、坂手)	奉仕団員、地域住民	21
12月21日(土)	小豆島町池田	奉仕団員、地域住民	26
12月22日(日)	直島町 本村	奉仕団員、地域住民	20
12月22日(日)	直島町 宮ノ浦	奉仕団員、地域住民	46
12月24日(火)	丸亀市	JA丸亀女性部員、地域住民	35
1月26日(日)	丸亀市飯山南	婦人会、婦人防火クラブ、 コミュニティ部会員	24
1月31日(金)	さぬき市	奉仕団員	45
2月 1日(土)	まんのう町高篠	社協高篠支部、自治会員、 福祉委員会	30
2月 1日(土)	まんのう町吉野	奉仕団員、社協吉野支部、 吉野地区連合自治会員、 まんのう町国際交流会メンバー 等	82
2月 2日(日)	三木町	自主防災会員	20
3月 9日(日)	観音寺市大野原町	奉仕団員、地域住民	25
合計 25 回		合計 870 人	





## 平成16年香川県水害から20年のメモリアル防災イベント

平成16年8月の台風16号により、高松市は甚大な高潮浸水被害を受けました。また、9月の台風21号により、豊浜町、大野原町では土石流が発生し、JR予讃線が不通になり、農地、果樹園、ため池などが多大な被害を受けました。さらに、10月の台風23号により、県全域で斜面崩壊、土石流、河川の氾濫、内水被害が発生し、多くの人的被害もでました。

これらの被害を受け、県内で初めて災害ボランティアセンターを開設し、赤十字や社会福祉協議会など関係機関が連携し、復旧復興に向けてボランティアと懸命に取り組みました。

県内に甚大な被害をもたらした平成16年の香川県水害から20年を迎えるにあたり、改めてこの災害を振り返り、県民の防災意識の高揚と災害時におけるボランティア活動を広く一般にアピールすることを目的に8月31日にメモリアル防災イベントを開催することとしていましたが、台風10号接近に伴い、イベントを中止し、9月7日の世界救急法の日記念イベントの際にパネル展示のみを実施しました。



## ～温故備震 故きを温ね明日に備える～「1.17香川からKOBE・AWAJIへ“希望の灯り”を」

阪神・淡路大震災から30年目の節目を迎える年に未曾有の被害をもたらした大震災の記憶を新たにしつつ、さらには同年のボランティア元年を踏まえ、県民の防災・減災意識の高揚と災害時におけるボランティア活動を広く一般にアピールすることを目的に開催しました。

買い物客や学生、通勤中の方、さらには外国人観光客などが、約400個の紙コップに「私たちは忘れない」、「今備えれば守れる命がある」、「災害のない年になりますように」など、それぞれの思いを綴ったメッセージやイラストを書き、ケミカルライトを点けて「1.17」の数字を描きました。

そして、発災12時間前の16日午後5時46分と地震が起きた17日午前5時46分に、灯した「1.17」の数字を囲んで黙とうをささげました。

- 日 時／令和7年1月16日(木) 15:00～20:00(17:46 黙とう)  
17日(金) 5:00～6:30(5:46 黙とう)
- 場 所／高松丸亀町壱番街ドーム広場
- 参加者／一般来場者 400人程度
- 内 容／追悼の“灯り”

紙コップにメッセージ等を記入し、ケミカルライトを差し込みます。1.17の数字を紙コップとケミカルライトで大きく描きました。



## 「防災とボランティアのつどい」～親子で学ぼう防災、広げよう減災～

「さぬきこどもの国」にて、「防災とボランティアのつどい～親子で学ぼう防災、広げよう減災～」を開催しました。

このイベントは、阪神・淡路大震災の翌年から、日本赤十字社香川県支部が香川県災害ボランティア連絡協議会の構成団体と共催で、災害への備えや災害の爪痕の記憶を忘れないための追悼のイベントとして開催し、東日本大震災の5年後からは、開催時期を3月に移して毎年続けています。

必ずやってくる大災害に備え、特に親子や家族に対し「防災・減災」の考え方を普及させるため、救護活動や防災活動の写真展示のほか、親子で学ぶ体験ブースコーナーでは、防災ボードゲームや津波のしくみ、AED体験など、親子で楽しく防災の意識を高めてもらえるように工夫を凝らしました。

- 日 時／令和7年3月8日(土) 10:00～15:00
- 場 所／さぬきこどもの国
- 参加者／一般来場者 1,125人
- 内 容／活動パネル展示…防災関連団体の活動をわかりやすく展示  
学べる体験ブース…参加団体が防災をテーマにした楽しい体験





## 国際活動

日本赤十字社は、世界191の国と地域の赤十字・赤新月社と連携して、世界各地において民族や宗教の対立等により発生する人道的な危機や、地震・洪水等の自然災害による難民、国内避難民等に対する「国際救援」を行っています。

また、災害や保健衛生上の脅威にさらされる開発途上国の赤十字社が実施するプログラムへの支援を行う「開発協力」を中心に、要員の派遣や資金、物資の援助を進めています。

これら本社が行う国際活動に呼応して、次のとおり活動を行いました。

### 国際救援

#### ◎海外救援金の取扱状況

「NHK海外たすけあい」募金	(844件)	4,458,321円
海外救援金（地域指定なし）	(1件)	2,000円
中東人道危機救援金	(44件)	88,000円
ウクライナ人道危機救援金	(75件)	10,409,287円
イスラエル・ガザ人道危機救援金	(5件)	86,036円
2024年台湾東部沖地震救援金	(27件)	1,578,093円
レバノン人道危機救援金	(1件)	12,887円
(合計)	(997件)	16,634,624円



台湾東部沖地震救援金

#### ◎「NHK海外たすけあい」キャンペーンの実施

海外で発生した災害や紛争による被災者等を支援するとともに開発途上国の開発協力を行うために、日本赤十字社とNHKが共催し、1983年に第1回のキャンペーンを実施して以来、毎年12月にNHKの放送を通じて広く募金を呼びかけています。

香川県支部では、12月7日(土)に高松駅前、高松丸亀町壱番街前ドーム広場付近の高松市内2カ所において青少年赤十字メンバー、高松市赤十字奉仕団員等で街頭募金を行いました。

12月2日(月)にはNHK高松放送局にてオープニングセレモニーを行いました。

- オープニングセレモニー
  - 【青少年赤十字加盟校】
    - 高松市立川岡幼稚園
- 街頭募金参加団体
  - 【青少年赤十字加盟校】
    - 高松市立下笠居小学校
    - 高松市立下笠居中学校
    - 香川県立高松北中学校
    - 香川県立三木高等学校
    - 尽誠学園高等学校
  - 【赤十字奉仕団】
    - 高松市赤十字奉仕団
    - 香川県青年赤十字奉仕団
    - 香川県赤十字安全奉仕団
    - 四国医療福祉専門学校学生赤十字奉仕団
    - 穴吹学園学生赤十字奉仕団



### 開発協力

#### ◎アジア・大洋州給水・衛生災害対応キット整備事業

国際赤十字・赤新月社連盟は、災害発生時に迅速に給水・衛生活動が展開出来るよう、「給水・衛生災害対応キット」を開発し、頻繁に災害に見舞われる国や地域に予めこれらの資機材を備蓄し、現地赤十字社のスタッフやボランティアに操作研修を行っています。

香川県支部は中国・四国各県の支部と共同で資金提供し、この事業に参加しています。

アジア・大洋州給水・衛生災害対応キット

整備事業資金の拠出 …… 727,526円

(中国・四国各県支部共同事業 拠出総額) …… 7,000,000円



マレーシア ボルネオ島北部サバ州で発生した干ばつに対し浄水設備で給水する職員の様子 ©MRCS



サイクロンで被災したバングラデシュ西部 Satkhira で展開された塩水処理装置稼働の様子 ©BDRCS





## 救急法等の講習

赤十字は、人間の苦痛を予防軽減し、生命と健康を守り、人間の尊厳を確保するという赤十字の理念に基づいて、広く一般の方々を対象とした救急法等の講習会を実施しています。

当支部では令和6年度に、次のとおり各地域で講習会を実施しました。

### 救 急 法

思わぬ事故や災害にあった人、急病になった人を正しく手当てし、医師や救急隊員に引き継ぐまでの応急手当として、「心肺蘇生・AED」「止血」「骨折の手当」「傷病者の搬送」などを内容とする講習会を次のとおり実施しました。

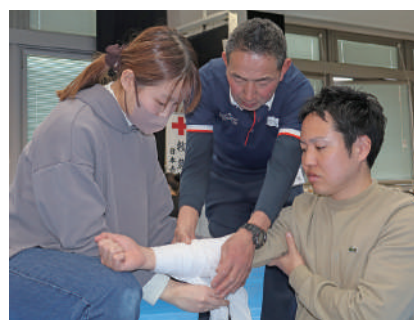
#### ●救急員養成講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	養成者数
穴吹医療大学 看護学科2年生、歯科衛生学科3年生	52	52
穴吹パティシエ福祉カレッジ 介護福祉学科1年	38	9
香川県警察学校 初任科94期生	29	29
香川県立香川中央高等学校 スポーツ科学コース2、3年生	74	72
香川県立高松南高等学校 福祉科1・2年	57	55
四国こどもととなの医療センター 附属善通寺看護学校2年生	68	68
尽誠学園高等学校 衛生看護科2年生	26	26
高松赤十字病院	13	13
日本赤十字社香川県支部(3回)	97	94
計 11 回	454	418



#### ●基礎講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	修了者数
穴吹リハビリテーションカレッジ	27	27
英明高等学校	24	24
香川県サッカー協会	18	18
香川県歯科医師会	47	47
四国医療専門学校(2回)	111	111
就労支援施設ピュア	15	15
高松赤十字病院	13	13
支部教室(6回)	256	254
その他(7回、救急法救急員養成講習会等含む)	344	344
計 21 回	855	853



## ●短期講習

対象・主催等	受講者数
秋山興産株式会社	396
穴吹学園高等学校	14
綾川町立陶小学校	32
綾川町立滝宮小学校	34
一ノ谷スポーツクラブ	28
(特定非営利活動法人) いのちの応援舎	29
宇多津町社会福祉協議会	40
宇多津町立宇多津中学校 (2)	146
英明高等学校 (3)	555
NPO 法人 SONAE-NET	20
榎の木フェスタ実行委員会	200
大川地区地域いきいきネット連絡会	75
太田南コミュニティセンター	20
大手前丸亀高等学校 (2)	82
大手前丸亀中学・高等学校	65
香川県教育委員会高校教育課 (2)	44
香川県教育委員会事務局衛生委員会	13
香川県教育委員会保健体育課	8
香川県教育センター (2)	64
香川県警察本部警務部 (3)	48
香川県交通安全協会 (2)	85
香川県市町職員研修センター (2)	145
香川県柔道連盟	30
香川県障がい者スポーツ指導者協議会	20
香川県小学校教育研究会仲善支部特別活動部会	19
香川県森林林業協会	4
香川県地区小型船安全協会	40
香川県中学校教育研究会高松支部養護部会	30
香川県藤井中学・高等学校	50
香川県ふじみ園	30
香川県ボランティア協会	38
香川県養護教諭協会さぬき・東かがわ支部	18
香川県立石田高等学校 (2)	105
香川県立香川中央高等学校	50
香川県立香川中部支援学校	80
香川県立香川東部支援学校	40
香川県立香川丸亀支援学校 (2)	120
香川県立笠田高等学校	149
香川県立観音寺総合高等学校 (3)	246
香川県立観音寺第一高等学校 (2)	214
香川県立琴平高等学校 (2)	194
香川県立坂出工業高等学校 (2)	140
香川県立坂出高等学校	50
香川県立坂出商業高等学校 (3)	182
香川県立視覚支援学校 (2)	60
香川県立志度高等学校	90
香川県立小豆島中央高校	50
香川県立善通寺支援学校 (2)	120
香川県立善通寺第一高等学校 (3)	210
香川県立高瀬高等学校	124
香川県立高松北中学校・高等学校	80
香川県立高松工芸高等学校	50
香川県立高松高等学校 (2)	100
香川県立高松高等学校定時制	25
香川県立高松桜井高等学校 (3)	285
香川県立高松支援学校	100
香川県立高松商業高等学校 (2)	320
香川県立高松南高等学校	50
香川県立多度津高等学校 (2)	172
香川県立津田高等学校	74
香川県立保健医療大学	71
香川県立丸亀高等学校 (3)	280
香川県立丸亀城西高等学校 (6)	222
香川県立三木高等学校	50
香川県立三木高等学校 (定時制)	38
香川誠陵中学校・高等学校	50
かがわ総合リハビリテーション	20
香川大学教育学部附属高松中学校	18
香川大学教育学部附属特別支援学校 (2)	50
香川大学四国危機管理教育研究地域連携推進機構	150
香川大学大学教育基盤センター	200
株式会社トーカイ	40
株式会社ルネサンスたくまシーマックス	15
株式会社田所電気	20
上高野地区自主防災会	17
川崎重工業株式会社	20
川西地区自主防災会	12
観音寺市女性地域活動隊	200
観音寺市赤十字奉仕団大野原分団	25

対象・主催等	受講者数
観音寺市立大野原小学校	30
観音寺市立大野原中学校	96
観音寺市立観音寺小学校	71
観音寺市立観音寺中学校 (2)	95
観音寺市立中部中学校 (3)	170
観音寺市立豊浜中学校 (2)	63
神前地区自主防災会 (4)	110
木太女性の会	30
公共交通で里山を歩く会	20
五色少年自然センター	16
ことでんバス株式会社	8
琴平町立榎井小学校	16
琴平町立琴平中学校	55
坂出グランドホテル	13
坂出コスモ興産株式会社	20
坂出市立東部中学校 (2)	84
坂出市立林田小学校	30
桜町マンション	70
さぬきこどもの国	32
さぬき市志度葭池自治会	52
さぬき市赤十字奉仕団長尾分団 (7)	175
さぬき市立寒川小学校	42
さぬき市立志度中学校 (2)	113
さぬき市赤十字奉仕団	45
さぬき市連合自治会造田支会 (5)	81
JA 香川県坂出中央地域女性部	35
四国工商株式会社 (3)	90
四国鉄道 OB 会香川県支部めろんどくらぶ・たまも	15
四国電力送配電株式会社	89
斯道学園	20
四変テック株式会社 (2)	64
四変テック株式会社高瀬工場 (2)	40
市民登山学校	65
小豆島町農村環境改善センター	26
小豆島町働く婦人の家	21
小豆島町立池田小学校	20
女性研修センターコスモス	35
(一般財団法人) 淳風会健康管理センター集団検診部	8
尽誠学園高等学校	66
社会福祉法人 瑞祥会	10
青少年赤十字リーダース・トレーニング・センター	59
せとうち観光専門職短期大学	26
香川県赤十字血液センター	30
善通寺市保健福祉部社会福祉課	80
善通寺市連合婦人会 (3)	81
善通寺市北地区自主防災会	75
高松市医師会看護専門学校同窓会	55
高松市木太南コミュニティセンター	30
高松市国分寺北部校区コミュニティ協議会 (6)	400
(公益財団法人) 高松市スポーツ協会 (3)	26
高松市赤十字奉仕団太田分団	20
高松市赤十字奉仕団太田南分団	26
高松市赤十字奉仕団弦打分団	20
高松市赤十字奉仕団多肥分団	30
高松市赤十字奉仕団栗林分団	50
高松市赤十字奉仕団東ブロック	36
高松市赤十字奉仕団山田地区・塩江地区	25
高松市二番丁地区女性防火クラブ	30
高松市民登山学校 42 期会	16
高松市屋島地区コミュニティ協議会屋島東コミュニティセンター (3)	90
高松市立浅野小学校	24
高松市立庵治中学校	75
高松市立一宮中学校 (2)	67
高松市立植田小学校	14
高松市立太田小学校	40
高松市立太田中学校 (2)	200
高松市立香川第一中学校 (2)	171
高松市立勝賀中学校	40
高松市立亀阜小学校	30
高松市立川岡小学校	20
高松市立川島小学校	30
高松市立川島小学校	64
高松市立川添小学校	30
高松市立木太小学校	30
高松市立木太中学校 (4)	328
高松市立木太北部小学校	25
高松市立木太南小学校	35
高松市立協和中学校 (4)	298

対象・主催等	受講者数
高松市立香東中学校	50
高松市立香南中学校 (2)	80
高松市立国分寺中学校 (3)	219
高松市立国分寺北部小学校	25
高松市立三溪小学校	30
高松市立紫雲中学校	40
高松市立新番丁小学校	40
高松市立十河小学校 (4)	225
高松市立高松第一小中学校	60
高松市立高松第一中学校 (2)	90
高松市立多肥小学校	22
高松市立玉藻中学校	35
高松市立東植田小学校	15
高松市立仏生山小学校	28
高松市立古高松小学校	30
高松市立前田小学校	20
高松市立牟礼小学校	20
高松市立牟礼中学校 (3)	150
高松市立牟礼南小学校	15
高松市立屋島小学校	20
高松市立屋島中学校	28
高松市立山田中学校	35
高松市立栗林小学校	48
高松市立龍雲中学校 (5)	367
高松赤十字病院 (2)	38
高松第一高等学校	50
高松立植田小学校	142
多度津町立豊原小学校	259
多和東部自主防災会	35
父母ヶ浜 PORT 事務局	4
東讃里山ボランティアガイド	17
特別養護老人ホーム一宮の里	20
特別養護老人ホームさんざん荘	50
富熊地区自主防災 (3)	50
どんぐりネットワーク	28
直島町子ども会育成連絡協議会	55
直島町西部公民館	46
直島町立直島小学校 (2)	45
直島町立直島中学校	54
直島ホール	20
二番丁自主防災会	30
二番丁地区体育協会	33
二番丁地区民生委員児童委員協議会	28
日本赤十字社香川県支部 (11)	624
パナソニック内装建材株式会社	15
ハムフェスティバル in 香川	150
東かがわ市立大川中学校 (3)	171
東かがわ市前山自治会	35
東かがわ市立白鳥中学校 (2)	57
東かがわ市社会福祉協議会	300
東かがわ市婦人団体連絡協議会	40
仏生山国際交流会	50
仏生山地区コミュニティ協議会	200
防災とボランティアのつどい	850
丸亀市川西地区自主防災会	6
丸亀市国際交流協会	27
丸亀市飯山北婦人会・奉仕団 (2)	65
丸亀市立城坤小学校	35
丸亀市立飯山中学校 (2)	140
丸亀市立飯山南小学校	25
丸亀市立東中学校 (2)	204
丸亀市立丸亀南中学校 (7)	238
丸亀市飯山南コミュニティセンター女性部会	24
丸亀中学校教育研究会保健体育科部会	29
まんのう町高篠公民館	30
まんのう町吉野体育館	82
まんのう町立満濃南小学校	15
満濃南小学校わくわくフェスタ	50
三木町長生自主防災会	50
三木町南山田集落センター	20
三木町立田中小学校	60
三木町立氷上小学校	30
三木町立三木中学校 (3)	250
三菱マテリアル株式会社 (2)	36
三豊市愛育会	35
三豊市立詫間中学校 (3)	87
三豊市立仁尾小学校	189
三豊市立仁尾中学校 (2)	90
三豊市立三津津中学校 (2)	78
計 361 回	19,405



## 水上安全法

水の事故から人命を守るため、「泳ぎの基本」「水の事故防止」「溺者の救助」「一次救命処置と応急手当」などを内容とする講習会を次のとおり実施しました。

### ●救助員養成講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	養成者数
香川県消防学校 消防学生 及び 支部主催教室 7月コース(プール)	45	40
支部主催教室 11月コース(プール)	8	8
支部主催教室 津田の松原(海)	7	7
計3回	60	55



### ●短期講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
綾川町立陶小学校(3回)	140	善通寺市立東部小学校(2回)	83
綾川町立滝宮小学校(3回)	180	善通寺市立与北小学校(2回)	22
綾川町立羽床小学校(2回)	75	高松市立亀阜小学校(2回)	99
一般社団法人 香川県水泳協会	27	高松市立鬼無小学校(2回)	76
香川県教育委員会保健体育課	120	高松市立多肥小学校PTA	35
香川県B&G財団連絡協議会(小豆島ふるさと村)	19	日本赤十字社香川県支部(2回)	30
香川県立香川西部支援学校(2回)	60	林校区分子ども会育成連絡協議会	24
香川県立聴覚支援学校(2回)	49	丸亀市立綾歌中学校(3回)	75
香川県地区小型船安全協会	40	丸亀市立東中学校(3回)	205
公益財団法人高松市スポーツ協会(6回)	59	まんのう町立満濃南小学校	42
琴平町立榎井小学校(2回)	70	三豊市立仁尾小学校(3回)	189
坂出市立林田小学校(3回)	157	牟礼小学校区子ども会育成連絡協議会(2回)	100
善通寺市立中央小学校	28	計52回	2,004



## 健康生活支援講習

健康増進・介護予防などへの社会の関心が高まる中、社会のニーズに柔軟に対応しつつ、自立に向けた高齢者介護の知識・技術などを広く普及しています。この講習では、高齢者の介護の方法のほか、高齢期を迎える前からの健康管理、地域での高齢者支援などを内容としています。

また、災害時高齢者生活支援講習においては、被災した高齢者の避難所生活に焦点をあてて、不自由な生活から高齢者を守るために、誰もが知っておいていただきたい知識や支援技術についてご紹介しています。

### ●支援員養成講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	養成者数
尽誠学園高等学校衛生看護科2年生	26	22
支部教室 (2回)	16	16
計 3 回	42	38



### ●短期講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	対 象 ・ 主 催 等	受講者数
綾川町赤十字奉仕団	44	多度津町健康福祉課	44
NPO法人たかまつ男女共同参画ネット	11	多度津町福祉保健推進員連絡協議会	26
岡中清寿会	11	土庄町赤十字奉仕団	21
大野原中央公民館	28	土庄町赤十字奉仕団小江分団	23
香川県建設労働組合	31	土庄町分区分 (湊崎公民館)	18
香川大学教育学部付属特別支援学校	49	土庄町分区分 (北浦公民館)	16
観音寺市赤十字奉仕団豊浜分団 (2回)	34	土庄町分区分 (四海公民館)	12
観音寺市大野原町宮ノ下自治会	33	土庄町分区分 (戸形公民館)	13
坂出市赤十字奉仕団 (8回)	439	直島町役場	20
さぬき市赤十字奉仕団	40	日本赤十字社香川県支部(3回)	191
さぬき市赤十字奉仕団津田分団	40	農業経営高等学校 (3回)	32
さぬき市津田町神野自治会	18	浜町自治会	17
さぬき市長尾町下名連合自治会	16	東かがわ市社会福祉協議会	75
白方地区福祉保健推進委員会	23	東かがわ市食生活改善推進協議会	35
小豆島町赤十字奉仕団草壁分団	28	ふれあいサロン「憩」	18
住みなくなるまち土器	26	ボランティア あんたら話	25
善通寺赤十字奉仕団と北分団	17	町田自治会	28
善通寺市竜川地区民生委員児童委員協議会	9	丸亀市赤十字奉仕団飯山北分団	40
赤十字奉仕団香川県支部委員会 (8回)	44	まんのう町赤十字奉仕団神野分団	36
赤十字奉仕団「ほっと」	14	まんのう町赤十字奉仕団四條分団	32
高松市赤十字奉仕団中央第一ブロック (2回)	34	まんのう町赤十字奉仕団仲南分団	27
高松赤十字奉仕団東部ブロック	23	まんのう町赤十字奉仕団長炭分団	26
高松市赤十字奉仕団南部ブロック	28	三木町赤十字奉仕団	30
高松市赤十字奉仕団弦打分団	20	三木町赤十字奉仕団井戸分団	16
高松赤十字奉仕団西植田分団	38	ゆうゆうひだまりカフェ	23
高松赤十字奉仕団古高松分団	22	若く行こう会	23
高松赤十字奉仕団牟礼分団 (2回)	36	リラクゼーション研修会 (教室) (2回)	80
高松市弦打地区保健委員会	26		
高松市社自治会	13		
		計 78 回	2,142





## 赤十字幼児安全法

こどもを社会の財産として大切に育てるために、「こどもに起こりやすい事故の予防と手当」「家庭内での看病の方法」を中心として次のとおり講習会を実施しました。

### ●支援員養成講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数	養成者数
穴吹パティシエ福祉カレッジこども保育学科2年生	14	13
支部教室(2回)	38	36
計3回	52	49



### ●短期講習

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
壱番街ドーム保育園	20
一般社団法人 キッズポート(2回)	24
NPO法人子育てネットひまわり(2回)	14
NPO法人さぬぎっずコムシアター コムコムひろば・あやうた	6
NPO法人わははネット	101
NPO法人わははネット わはは・ひろば香西(2回)	12
NPO法人わははネット わはは・ひろば高松(2回)	15
香川県子健康福祉子ども政策推進局子ども家庭課(3回)	154
香川県教育センター	53
香川短期大学子ども学科第Ⅰ部・第Ⅲ部(2回)	50
株式会社マミーズファミリー(2回)	34
株式会社みいろ	6
観音寺市ファミリー・サポート・センター(2回)	10
岳虎保育園	38
こぶし今里保育園子育て支援センターおひさまひろば(2回)	11
坂出市ファミリー・サポート・センター(2回)	14
さぬぎ市ファミリー・サポート・センター(2回)	12
社会福祉法人 弘善会 児童養護施設 讃岐学園	25
すくすく保育所(2回)	14
赤十字奉仕団香川県支部委員会(4回)	22

対 象 ・ 主 催 等	受講者数
高松市塩江こども園	62
高松市総合教育センター	68
高松市立大野幼稚園	21
高松市立三溪幼稚園	7
高松聖母幼稚園(2回)	20
高松赤十字病院	21
たかまつファミリー・サポート・センター(6回)	80
特定非営利活動法人すくすく(2回)	12
にしおか医院地域子育て支援センター(2回)	36
西春日保育所子育て支援センターピノキオ	10
二番丁幼稚園	4
二番丁地区民生委員児童委員協議会	8
認定こども園高松くりの木学舎(3回)	71
東かがわ市子ども家庭課(2回)	28
ファミリー・サポート・センターうたづ	8
丸亀市ファミリー・サポート・センター(5回)	37
みとよファミリー・サポート・センター(2回)	22
有限会社ジェム	21
計70回	1,171



## 赤十字幼児安全指導員養成講習会の実施

赤十字の理念と使命を理解し、十分な知識と技術をもった実践的な指導員を養成し、本県における赤十字幼児安全法の普及並びに指導体制の強化を図ることを目的に指導員養成講習会を実施しました。

- 日 時／令和6年 9月21日(土) 説明会・事前研修会  
 令和6年10月12日(土)～14日(月・祝) 養成講習会  
 10月19日(土)～20日(日) //  
 令和6年11月30日(土)～12月1日(日) 事後研修会
- 場 所／日本赤十字社香川県支部 ボランティア室等
- 養成人員／11人(受講者11人)



## 赤十字救急法指導員養成講習会の実施

赤十字の理念と使命を理解し、十分な知識と技術をもった実践的な指導員を養成し、本県における赤十字救急法講習の普及並びに指導体制の強化を図ることを目的に指導員養成講習会を実施しました。

- 日 時／令和6年11月30日(土)～12月1日(日) 説明会・事前研修会  
 令和7年 1月11日(土)～13日(月・祝) 養成講習会  
 18日(土)～19日(日) //  
 令和7年 2月15日(土)～16日(日) 事後研修会
- 場 所／日本赤十字社香川県支部 ボランティア室等
- 養成人員／17人(受講者18人)







# 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字の使命とする人道的な諸活動を、様々な領域で実践しようとする方々により結成されたボランティア組織です。

この赤十字奉仕団は、市町の地域ごとに組織されている「地域奉仕団」、青年や学生で組織されている「青年奉仕団」、救急法等のボランティア指導員、アマチュア無線等特殊な技術をもった方々で組織されている「特殊奉仕団」によって構成されています。

これらの赤十字奉仕団は、災害時の救護活動、献血の推進活動、救急法等の講習普及活動、社会福祉活動など地域に根差した活動を県内各地で展開しています。

## 地域奉仕団

地域奉仕団は、赤十字の基盤となるボランティア組織として、赤十字事業の推進に欠くことのできない存在であり、各地域においてそれぞれの立場で奉仕活動を展開しています。

### ●組織及び団員数 17団（8市9町） 7,107人

区 分	高松	丸亀	坂出	善通寺	観音寺	さぬき	東かがわ	三豊	小豆	東讃	中讃	計
分団数	41	7	9	3	15	10	7	8	10	3	41	154分団
団員数	985	225	843	67	377	232	342	285	794	87	2,870	7,107人

### ●主な活動内容

- ① 会員増強に関する活動
- ② 災害救護に関する活動
- ③ 救急法、健康生活支援講習等の講習普及に関する活動
- ④ 赤十字病院における活動
- ⑤ 献血推進に関する活動
- ⑥ 青少年赤十字の加盟促進、育成に関する活動
- ⑦ 社会福祉に関する活動
- ⑧ その他



### ●研修行事の開催と参加状況

主催	行 事 名	月 日	場 所	参加者(対象)	参加人数
本 社	赤十字奉仕団中央委員会	5月30日(木)～31日(金)	東京都・日赤本社	支部委員会委員長	1
	赤十字ボランティア・リーダー研修会	8月24日(土)～26日(月)	東京都・日赤本社	安全奉仕団員・支部指導講師	2
	赤十字奉仕団支部指導講師研修会	1月25日(土)～27日(月)	東京都・日赤本社	地域・特殊奉仕団員	1
ブロック	中国・四国ブロック赤十字奉仕団協議会	9月24日(火)～25日(水)	日赤広島県支部	中国・四国各県奉仕団(支部委員会委員長、支部直員)	2
	中国・四国ブロック赤十字奉仕団研修会	10月17日(木)～18日(金)	日赤徳島県支部	中国・四国各県奉仕団(坂出市、東かがわ市綾歌郡)	3
支 部	赤十字奉仕団県支部委員会	5月13日(月)	日赤香川県支部	支部委員、支部職員	17
	赤十字奉仕団委員長会議	6月 6日(木)	香川県社会福祉総合センター	各市町委員長、副委員長等地区区分担当者	61
	世界救急法の日記念イベント	9月 7日(土)	香川県社会福祉総合センター	各地区・分区分奉仕団員等	128
	赤十字奉仕団県支部委員会	9月11日(水)	日赤香川県支部	支部委員、支部職員	16
	赤十字奉仕団ボランティア・リーダー研修会	11月18日(月)～19日(火)	じゃこ丸パーク津田	各地区・分区分奉仕団員	30
	NHK海外たすけあい街頭募金	12月 7日(土)	高松市内	高松市赤十字奉仕団	32
	赤十字奉仕団基礎研修会	2月 6日(木)	香川県社会福祉総合センター	各地区・分区分奉仕団員・地区区分担当者	159

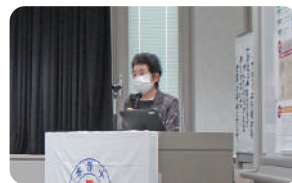
### ●研修会等の開催

#### ○委員長会議の開催

- 日 時／令和6年6月6日(木) 9:30～14:00
- 場 所／香川県社会福祉総合センター 7階大会議室
- 参 加 者／各市町奉仕団委員長、副委員長、地区・分区分担当者 61人
- 内 容／赤十字奉仕団活動報告、モデル奉仕団活動報告等

#### ○赤十字奉仕団ボランティア・リーダー研修会

- 日 時／令和6年11月18日(月)～19日(火)
- 場 所／じゃこ丸パーク津田
- 参 加 者／県内赤十字奉仕団中堅リーダー及び将来リーダーとなる者 30人
- 研修内容／赤十字と赤十字事業、赤十字講習体験、人生会議カードゲーム体験、各奉仕団の活動状況の情報交換、音楽療法



# ○赤十字奉仕団基礎研修会

- 日 時／令和7年2月6日(木) 10:00～15:00
- 場 所／香川県社会福祉総合センター7階大会議室
- 参加予定者／各市町赤十字奉仕団員等 159人
- 研 修 内 容／講義 「赤十字の使命と活動」映写「赤十字この1年 令和5年度」  
講演 「こころの声が言葉になる『あのね、ほんとうはね』  
～院内学級の子どもたちが教えてくれたこと～」  
講師 昭和大学大学院保健医療学研究科 准教授 副島 賢和 氏



# ●モデル奉仕団の指定

明るく住みよい社会を築きあげていくために必要な活動を展開している赤十字奉仕団において、その活動をより充実させ活発化させていく方策として、下記の活動を重点に推進する奉仕団をモデル奉仕団として毎年指定しています。

指定を受けた奉仕団が、効果的な活動の進め方を探求するとともに、他の奉仕団を啓発し、活動の充実強化に寄与することを目的としています。

- 指 定 期 間／3年間
- 重点活動内容／①地域高齢者支援活動(地域包括ケア)  
②児童の健全育成活動  
③非常災害に対する地域防災活動  
④会員増強に関する特色ある活動  
⑤その他必要な活動



指定年度	奉仕団名	活動内容
令和4年度	善通寺市赤十字奉仕団	地域高齢者支援活動(地域包括ケア)、非常災害に対する地域防災活動、児童の健全育成活動
令和5年度	観音寺市赤十字奉仕団 豊浜分団	地域高齢者支援活動(地域包括ケア)、非常災害に対する地域防災活動、児童の健全育成活動、会員増強に関する特色ある活動、その他の活動
	高松市赤十字奉仕団 多肥分団	非常災害に対する地域防災活動 児童の健全育成活動
令和6年度	丸亀市赤十字奉仕団 飯山北分団	地域高齢者支援活動(地域包括ケア) 非常災害に対する地域防災活動
	さぬき市赤十字奉仕団	非常災害に対する地域防災活動
	土庄町赤十字奉仕団 小江分団	地域高齢者支援活動(地域包括ケア)
	小豆島町赤十字奉仕団 草壁分団	非常災害に対する地域防災活動

# 青年奉仕団

青年奉仕団は将来の赤十字活動の中心となるべき青年や学生によって組織され、ボランティア活動を通して赤十字思想の理解と実践に取り組んでいます。

# ●組織及び団員数 9団 108人

団 名
香川県青年赤十字奉仕団
さぬき福祉専門学校学生赤十字奉仕団
香川短期大学学生赤十字奉仕団
高松大学・高松短期大学学生赤十字奉仕団
四国医療福祉専門学校学生赤十字奉仕団
四国学院大学学生赤十字奉仕団
香川大学学生赤十字奉仕団
穴吹学園学生赤十字奉仕団
香川県立保健医療大学学生赤十字奉仕団
計 9 団



# ●主な活動内容

- ①献血キャンペーン活動の実施
- ②NHK海外たすけあいキャンペーン活動
- ③支部実施行事(各種イベント等)への協力
- ④義援金等の募集活動、団員研修・交流
- ⑤救護訓練等への参加





## ●研修行事の開催と参加状況

主催	行事名	月 日	場 所	参加者(対象)	参加人数
本 社	赤十字ユース委員会	5月12日(日)	本社 (WEB会議)	ユース委員	1
	赤十字ユース委員会	1月19日(日)	東京都・日赤本社	ユース委員	1
ブロッ	第5ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	6月8日(土)～9日(日)	徳島県	中国・四国各県 学生・青年赤十字奉仕団メンバー	2
	第5ブロック青年赤十字奉仕団研修会	9月7日(土)～8日(日)	愛媛県	中国・四国各県 学生・青年赤十字奉仕団	1
支 部 ・ 協 議 会	県連総会	4月20日(土)	支部ボランティア室	学生・青年赤十字奉仕団	31
	赤十字フェスタ	4月29日(月・祝)	高松丸亀町番町前ドーム広場	学生・青年赤十字奉仕団	56
	献血キャンペーン@丸亀お城まつり	5月 4日(日・祝)	丸亀市保健福祉センター	学生・青年赤十字奉仕団	3
	防災ボランティア基礎研修会	6月 8日(土)	香川県社会福祉総合センター	防災ボランティア他	10
	血液センター親子見学教室	7月21日(日)・22日(月)・ 27日(土)・28日(日)	香川県赤十字血液センター	学生・青年赤十字奉仕団	2
	青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター	8月7日(水)～9日(金)	五色台少年自然センター	学生・青年赤十字奉仕団	9
	防災キャンプ in 南川	9月21日(土)～22日(日・祝)	さぬき市南川自然の家	学生・青年赤十字奉仕団	6
	香川県総合防災訓練	10月27日(日)	香川県消防学校	防災ボランティア他	3
	NHK 海外たすけあいキャンペーン	12月7日(土)	高松市内	学生・青年赤十字奉仕団	37
	全国学生クリスマス献血キャンペーン	12月21日(土)～22日(日)	献血ルーム・イオンモール高松	学生・青年赤十字奉仕団	15
	防災ボランティア実践研修会	1月25日(土)	香川県青年センター	学生・青年赤十字奉仕団	8
	防災とボランティアのつどい	3月8日(土)	さぬきこどもの国	学生・青年赤十字奉仕団	13



## 特殊奉仕団

### ●香川県アマチュア無線赤十字奉仕団

アマチュア無線の特殊技能を持った人々によって組織されているアマチュア無線奉仕団は、災害等の非常事態発生の際に連絡網を断たれた被災地の情報収集、伝達など通信の確保に協力するための訓練を実施しており、その活動状況は次のとおりです。

- ①組織及び団員数 1 団 31 人
- ②主 な 活 動 内 容
  - 県内無線電波の伝播テスト及び電波形式でのテキスト送受訓練
  - 非常通信協議会の非常通信訓練への参加
  - 香川県総合防災訓練参加



### ●香川県赤十字安全奉仕団

救急法等ボランティア指導員によって組織され、人道を基本理念とする赤十字精神に基づき、事故防止並びに安全思想の普及を図るため、各種講習会において主体的な指導にあたっています。その活動状況は次のとおりです。

- ①組織及び団員数 1 団 150 人
- ②主 な 活 動 内 容
  - 救急法等講習普及活動
  - 支部実施行事（各種イベント等）への協力
  - 団員研修・交流



### ○赤十字安全奉仕団一泊研修会（防災キャンプ2024）の開催

- 日 時／令和6年9月21日(土)～22日(日・祝)
- 場 所／さぬき市南川自然の家
- 内 容／
  - ・赤十字奉仕団員同士の交流と親睦
  - ・発電機取扱・ロープワークの習得
  - ・作って食べよう（サバイバル飯・竹から作る流しそうめん）
  - ・自然を探そう
- 参 加 者／33 人



## ○赤十字安全奉仕団研修会開催

- 日 時／令和6年12月14日(土)
- 場 所／香川県社会福祉総合センター 7階 第一中会議室
- 内 容／国際人道法について 人生会議ワークショップ「私の想いカードと意思表示帳について」
- 参 加 者／35人



## ●香川県赤十字奉仕団 “ほっと”

健康生活支援講習のリラクゼーション技術を勉強した人によって組織され、定期的に高齢者福祉施設入所者等にリラクゼーションのケアサービスを提供しています。

わずかな時間そばに付き添い、静かに話に耳を傾けスキンシップをすることで、相互の心身のやすらぎやストレスの緩和につながります。温かい両手と笑顔と共感の心で実践活動を行っています。

- ①組織及び団員数 1団 43人
- ②主な活動内容
  - 施設へのケアサービスの提供
  - 団員研修会の開催
  - 団員の増強とケアサービスの普及、充実
  - 支部実施行事（各種イベント等）への協力



## ●香川県青少年赤十字賛助奉仕団

青少年赤十字加盟校を退職された指導者によって組織されている青少年赤十字賛助奉仕団は、加盟校在籍中の経験を生かした青少年赤十字の普及、加盟促進への協力活動等を行っています。

- ①組織及び団員数 1団 89人
- ②主な活動内容
  - 青少年赤十字の普及、加盟促進への協力
  - 青少年赤十字加盟校への協力
  - 香川県教育委員会への働きかけ
  - 校長会・園長会等への働きかけ
  - 地域赤十字奉仕団との連携



## ●香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団

災害時に赤十字ボランティア活動を実施するためバイク愛好家により結成し活動しております。

大地震等の災害に備え、小回りの利くバイクの機動力を生かし、救援活動や情報収集をするため、訓練等を実施して緊急時に備えています。

- ①組織及び団員数 1団 19人
- ②主な活動内容
  - 支部実施行事（各種イベント等）への協力
  - 団員研修・交流







# 青少年赤十字

青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神に基づいて世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、青少年自身が日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的として、学校（幼稚園・保育所）内に組織されています。

日本全国で保育所から高等学校まで約1万4千校、343万人余りのメンバーが加盟し、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」という3つの実践目標と、「気づき、考え、実行する」という態度目標を掲げ活動しています。

県内の加盟状況等は、次のとおりです。



## ●加盟状況

区分	保育所	幼稚園	こども園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校数	39	93	59	149	68	45	10	463
メンバー数	3,004	5,455	6,112	35,165	20,473	18,116	709	89,034

## ●加盟校（所・園）一覧表（※は、新規加盟校）

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
高松市立瀬戸内保育所	15	高松市立鬼無保育所	143	坂出市立江尻保育所	44
高松市立扇町保育所	89	高松市立三谷保育所	104	坂出市立西部保育所	16
高松市立宮脇保育所	28	高松市立多肥保育所	138	坂出市立南部保育所	109
高松市立松島保育所	98	高松市立西植田保育所	36	育愛館	125
高松市立福岡保育所	32	高松市立東植田保育所	19	林田保育園	89
高松市立桜町保育所	162	高松市立大野保育所	181	みどり保育園	79
高松市立田村保育所	40	高松市立川東南保育所	16	愛集苑保育所	15
高松市立鶴尾保育所	22	高松市立国分寺北部保育所	72	高室福祉会高室保育園	120
高松市立太田保育所	91	高松市立国分寺南部保育所	100	さぬき市立長尾保育所	63
高松市立木太保育所	130	高松市立牟礼保育所	100	※ 社会福祉法人喜勝会すくすく保育所	26
高松市立古高松保育所	126	高松市立田井保育所	41	※ 社会福祉法人喜勝会わくわく保育所	8
高松市立下笠居東部保育所	27	松福福祉会城東保育園	71		
高松市立香西保育所	163	こぶし花園保育園	88		
高松市立弦打保育所	79	こぶし中央保育園	99		
				計 39	3,004

学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川大学教育学部附属幼稚園高松園舎	28	国東学園くにとう幼稚園	316	三豊市立下高瀬幼稚園	25
高松市立前田幼稚園	13	まゆみ学園まゆみ幼稚園	83	三豊市立大見幼稚園	42
高松市立川添幼稚園	25	丸亀市立城東幼稚園	40	三豊市立豊中幼稚園	200
高松市立三深幼稚園	25	丸亀市立城東幼稚園	36	三豊市立詫間幼稚園	38
高松市立香西幼稚園	27	丸亀市立城辰幼稚園	33	三豊市立松崎幼稚園	10
高松市立一宮幼稚園	15	※ 丸亀市立本島幼稚園	7	三豊市立曾保幼稚園	3
高松市立多肥幼稚園	41	聖母学園丸亀聖母幼稚園	77	小豆島町立星城幼稚園	14
高松市立川岡幼稚園	8	丸亀虎岳学園丸亀城南虎岳幼稚園	229	小豆島町立安田幼稚園	3
高松市立円座幼稚園	23	香川大学教育学部附属幼稚園	69	小豆島町立苗羽幼稚園	5
高松市立檀紙幼稚園	30	坂出市立坂出中央幼稚園	18	小豆島町立福田幼稚園	2
高松市立弦打幼稚園	13	坂出市立林田幼稚園	13	小豆島町立小豆島こどもセンター（小豆島町立池田幼稚園）	94
高松市立鬼無幼稚園	11	坂出一高幼稚園	111	三木町立しの子幼稚園	84
高松市立木太幼稚園	42	善通寺市立中央幼稚園	34	三木町立田中幼稚園	12
高松市立木太北部幼稚園	14	善通寺市立西部幼稚園	5	三木町立氷上幼稚園	30
高松市立栗山幼稚園	26	善通寺市立南部幼稚園	32	三木町立白山幼稚園	27
高松市立大町幼稚園	1	善通寺市立東部幼稚園	56	三木学園おおば幼稚園	151
高松市立大野幼稚園	26	善通寺市立与北幼稚園	6	宇多津町立宇多津幼稚園	44
高松市立国分寺北部幼稚園	40	善通寺市立竜川幼稚園	133	青山幼稚園	103
高松市立国分寺南部幼稚園	48	善通寺市立筆岡幼稚園	51	多度津町立四箇幼稚園	32
高松中央高校幼稚園	58	善通寺市立吉原幼稚園	33	多度津町立豊原幼稚園	50
ときわ幼稚園	93	聖母学園善通寺聖母幼稚園	60	多度津町立多度津幼稚園	25
高松聖母被昇天学院マリア幼稚園	169	観音寺市立観音寺中央幼稚園	111	計 93	5,455
高松聖ヤコブ幼稚園	69	聖母学園観音寺聖母幼稚園	59		
のぞみ幼稚園	49	さぬき市立さぬき南幼稚園	45		
栗林学園栗林幼稚園	203	さぬき市立志度幼稚園	30		
二番丁学園二番丁幼稚園	135	さぬき市立寒川幼稚園	15		
高松学園高松幼稚園	146	さぬき市立長尾幼稚園	16		
屋島教会学園屋島教会幼稚園	56	さぬき市立造田幼稚園	28		
聖母学園高松聖母幼稚園	80	聖母学園長尾聖母幼稚園	25		
聖母学園桜町聖母幼稚園	101	三豊市立二ノ宮幼稚園	8		
相愛学園相愛幼稚園	168	三豊市立比地二幼稚園	29		
小山学園愛育幼稚園	26	三豊市立上高瀬幼稚園	46		
青空幼稚園	148	三豊市立勝間幼稚園	24		
百華学園太田百華幼稚園	155	三豊市立麻幼稚園	12		
光華学園光華幼稚園	145	三豊市立山本幼稚園	105		
らく楽寺井幼稚園	166	三豊市立吉津幼稚園	43		



学 校 名	メンバー
高松市林こども園	226
高松市下笠居こども園	50
高松市川島こども園	186
高松市屋島こども園	113
高松市庵治こども園	44
高松市塩江こども園	41
高松市はらこども園	118
高松市浅野こども園	128
高松市川東こども園	82
高松市香南こども園	175
四国高松学園高松東幼稚園（認定こども園）	98
香川県百華学園 勅使百華幼稚園	169
亀阜学園亀阜幼稚園（認定こども園）	37
新田学園新田幼稚園（認定こども園）	137
認定こども園やしま幼稚園	166
認定こども園つくし幼稚園	65
認定こども園サンシャインこどもの森	145
認定こども園 中野保育所	151
花ノ宮こども園	102
認定こども園すまいる	181
※ 丸亀市立城北こども園	119
※ 丸亀市立城乾こども園	122
※ 丸亀市立飯野こども園	190
丸亀市立郡家こども園	109

学 校 名	メンバー
※ 丸亀市立垂水こども園	167
丸亀市立あやうたこども園	44
丸亀市立飯山こども園	107
坂出市立松山こども園	77
※ 坂出市立加茂こども園	67
坂出市立府中こども園	45
坂出市立川津こども園	109
※ 坂出こども園	72
きんかこども園	146
ルンビニ幼稚園	113
香川短期大学附属のぞみこども園	29
観音寺市立観音寺こども園	317
※ 観音寺市立豊浜こども園	155
観音寺市立大野原こども園	267
さぬき市立津田こども園	82
社会福祉法人長尾福祉会認定こども園長尾学舎	90
東かがわ市立引田こども園	65
東かがわ市立大内こども園	81
東かがわ市丹生こども園	47
三豊市立仁尾こども園	111
土庄町立土庄こども園	140
土庄町立大鐸こども園	26
土庄町立大部こども園	7
土庄町立北浦こども園	13

学 校 名	メンバー
土庄町立四海こども園	28
直島町立直島幼児学園（認定こども園）	86
認定こども園香川短期大学附属幼稚園	182
まんのう町立高篠こども園	33
まんのう町立四条こども園	54
まんのう町立満濃南こども園	179
まんのう町立長炭こども園	29
まんのう町立仲南こども園	50
まんのう町立琴南こども園	32
琴平町立南こども園	57
琴平町立北こども園	51
計 59	6,112



学 校 名	メンバー
香川大学教育学部附属高松小学校	616
高松市立新番丁小学校	698
高松市立亀阜小学校	503
高松市立栗林小学校	25
高松市立花園小学校	223
高松市立高松第一小学校	12
高松市立鶴尾小学校	36
高松市立太田小学校	718
高松市立木太小学校	428
高松市立古高松小学校	451
高松市立屋島小学校	312
高松市立前田小学校	175
高松市立川添小学校	513
高松市立林小学校	20
高松市立三溪小学校	500
高松市立仏生山小学校	580
高松市立香西小学校	20
高松市立一宮小学校	619
高松市立多肥小学校	22
高松市立川岡小学校	57
高松市立円座小学校	734
高松市立檀紙小学校	590
高松市立弦打小学校	497
高松市立鬼無小学校	16
高松市立下笠居小学校	211
高松市立男木小学校	9
高松市立川島小学校	440
高松市立十河小学校	75
高松市立東植田小学校	24
高松市立植田小学校	12
高松市立中央小学校	837
高松市立太田南小学校	868
高松市立木太南小学校	198
高松市立古高松南小学校	738
高松市立屋島東小学校	16
高松市立屋島西小学校	288
高松市立木太北小学校	383
高松市立塩江小学校	45
高松市立庵治小学校	124
高松市立牟礼小学校	257
高松市立牟礼北小学校	428
高松市立牟礼南小学校	170
高松市立大野小学校	16
高松市立浅野小学校	12
高松市立川東小学校	17
高松市立香南小学校	6
高松市立国分寺北部小学校	19
高松市立国分寺南部小学校	217
丸亀市立城坤小学校	43
丸亀市立城西小学校	546
丸亀市立城南小学校	638
丸亀市立城東小学校	572
丸亀市立城辰小学校	291

学 校 名	メンバー
丸亀市立本島小学校	2
丸亀市立郡家小学校	736
丸亀市立垂水小学校	309
丸亀市立富熊小学校	202
丸亀市立栗熊小学校	127
丸亀市立岡田小学校	244
丸亀市立飯山北小学校	540
丸亀市立飯山南小学校	271
香川大学教育学部附属坂出小学校	414
坂出市立坂出小学校	517
坂出市立東部小学校	12
坂出市立金山小学校	116
坂出市立西庄小学校	23
坂出市立林田小学校	309
坂出市立加茂小学校	180
坂出市立府中中学校	100
坂出市立川津小学校	8
坂出市立松山小学校	134
善通寺市立東部小学校	251
善通寺市立中央小学校	167
善通寺市立西部小学校	116
善通寺市立南部小学校	157
善通寺市立与北小学校	22
善通寺市立竜川小学校	376
善通寺市立筆岡小学校	235
善通寺市立吉原小学校	105
観音寺市立観音寺小学校	512
観音寺市立伊吹小学校	5
観音寺市立高室小学校	125
観音寺市立常磐小学校	323
観音寺市立豊田小学校	155
観音寺市立栗井小学校	62
観音寺市立柞田小学校	460
観音寺市立一ノ谷小学校	236
観音寺市立大野原小学校	496
観音寺市立豊浜小学校	321
さぬき市立津田小学校	150
さぬき市立さぬき南小学校	164
さぬき市立志度小学校	85
さぬき市立さぬき北小学校	173
さぬき市立寒川小学校	195
さぬき市立長尾小学校	367
さぬき市立道田小学校	176
東かがわ市立引田小学校	226
東かがわ市立白鳥小学校	298
東かがわ市立大内小学校	471
三豊市立二ノ宮小学校	63
三豊市立比地小学校	148
三豊市立上高瀬小学校	208
三豊市立勝間小学校	177
三豊市立麻小学校	104
三豊市立山本小学校	287
三豊市立吉津小学校	140

学 校 名	メンバー
三豊市立下高瀬小学校	169
三豊市立大見小学校	117
三豊市立桑山小学校	107
三豊市立笠田小学校	112
三豊市立本山小学校	146
三豊市立上高野小学校	99
三豊市立比地大小学校	119
三豊市立詫間小学校	410
三豊市立松崎小学校	97
三豊市立仁尾小学校	189
三豊市立善保小学校	13
三豊市立財田小学校	139
土庄町立土庄小学校	460
土庄町立豊島小学校	17
小豆島町立星城小学校	129
小豆島町立安田小学校	121
小豆島町立苗羽小学校	91
小豆島町立池田小学校	14
三木町立平井小学校	577
三木町立田中小学校	101
三木町立氷上小学校	521
三木町立白山小学校	240
直島町立直島小学校	110
宇多津町立宇多津小学校	456
宇多津町立宇多津北小学校	457
綾川町立綾上小学校	6
綾川町立昭和小学校	235
綾川町立陶小学校	98
綾川町立海宮小学校	6
綾川町立羽床小学校	26
まんのう町立琴南小学校	44
まんのう町立高篠小学校	126
まんのう町立四条小学校	211
まんのう町立満濃南小学校	199
まんのう町立長炭小学校	110
まんのう町立仲南小学校	151
琴平町立琴平小学校	118
琴平町立榎井小学校	70
琴平町立象郷小学校	105
多度津町立四箇小学校	289
多度津町立白方小学校	46
多度津町立豊原小学校	412
多度津町立多度津小学校	237
計 149	35,165





学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー	学 校 名	メンバー
香川県立小豆島みんなの支援学校	17	香川県立香川中部支援学校	21	香川県立香川西部支援学校	120
香川県立香川東部支援学校	5	香川県立高松支援学校	89	香川大学教育学部附属特別支援学校	57
香川県立視覚支援学校	15	香川県立香川丸亀支援学校	241		
香川県立聴覚支援学校	27	香川県立善通寺支援学校	117	計 10	709

主 催	学 校 名	月 日	場 所	参加者（対象）	参加人数
本 社	リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	5月31日(金)～6月2日(日)	国立オリンピック記念センター	指導者	1
	全国指導者協議会総会・研修会	7月12日(金)	東京都・日赤本社	指導者協議会長	1
	全国賛助奉仕団協議会総会	7月11日(木)～12日(金)	東京都・日赤本社	賛助奉仕団委員長	1
	指導者中央講習会	11月 4日(月・振)	東京都・日赤本社	指導者	1
	指導主事対象研究会	1月10日(金)	東京都・日赤本社	指導主事	1
	スタディー・センター	3月22日(土)～26日(水)	山梨県・山中湖村東照館	高校生メンバー	1
ブロック	中国・四国ブロック賛助奉仕団連絡協議会・研修会	10月24日(木)～25日(金)	鳥取県	中・四国賛助奉仕団員	2
	中国・四国ブロック指導者協議会	11月28日(木)～29日(金)	鳥取県	指導者協議会役員、支部職員	2
支 部 協 議 会 ・ 賛 助	赤十字フェスタ（世界赤十字デー周知キャンペーン）	4月29日(月・祝)	高松丸亀町番街前ドーム広場	青少年赤十字メンバー	20
	香川県指導者協議会役員会	4月30日(火)	日赤香川県支部	指導者協議会役員	9
	香川県賛助奉仕団役員会	4月30日(火)	香川県社会福祉総合センター	賛助奉仕団役員	7
	香川県賛助奉仕団総会	5月11日(土)	日赤香川県支部	賛助奉仕団員	9
	リーダーシップ・トレーニング・センター企画運営委員会	6月10日(月)	日赤香川県支部	企画運営委員	5
	リーダーシップ・トレーニング・センター第1回研修会	7月12日(金)	日赤香川県支部	指導者	18
	リーダーシップ・トレーニング・センター	8月7日(水)～9日(金)	香川県立五色台少年自然センター	小・中・高メンバー、指導者	106
	香川県指導者研修会	9月18日(水)	香川県社会福祉総合センター	指導者	32
	香川県指導者協議会役員会	10月 7日(月)	日赤香川県支部	指導者協議会役員	9
	香川県賛助奉仕団役員会	10月 7日(月)	香川県社会福祉総合センター	賛助奉仕団役員	6
	リーダーシップ・トレーニング・センター第2回研修会	10月30日(水)	日赤香川県支部	指導者	11
	研究発表会	11月13日(水)	三豊市立仁尾小学校	指導者等	113
	香川県指導者協議会役員会	2月25日(火)	日赤香川県支部	指導者協議会役員	9
	香川県賛助奉仕団役員会	2月25日(火)	香川県社会福祉総合センター	賛助奉仕団役員	



## ●青少年赤十字指導者研修会の開催

青少年赤十字指導者をはじめとする参会者に、学校現場へ青少年赤十字を取り入れ、学校づくりや子どもの育成等に役立てていただくことを目的として、次のとおり開催しました。

- 日 時／令和6年9月18日(水) 14:00～16:00
- 場 所／香川県社会福祉総合センター 7階第1中会議室
- 参 加 者／青少年赤十字加盟校指導者等 32人
- 講演内容／講演「学校で取り組めるSDGsについて」  
講師／四国地方ESD活動支援センター  
事務局長 宇賀神 幸恵 氏



## ●青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センターの開催

青少年赤十字の組織と活動のリーダーとなる児童・生徒の養成を目的として開催し、次のとおり、知識、技術、態度の面から赤十字と青少年赤十字について学習しました。

- 日 時／令和6年8月7日(水)～9日(金)
- 場 所／香川県立五色台少年自然センター
- 参 加 者／小・中・高校生メンバー、指導者 106人
- 内 容／赤十字の歴史、健康安全プログラム、フィールドワーク等



## 青少年赤十字研究推進校の指定

青少年赤十字活動の充実強化を図るとともに、地域への理解促進を図り、青少年赤十字事業の振興を期するため、青少年赤十字研究推進校を指定し、研究を委嘱しました。

### ●指定状況

指定年度	指定期間	研究主題	指定校名
令和5年度	令和5～6年度	課題をもって、考えて、感動しよう！ －主体的に人・課題と関わることで、感性を磨く授業づくり－	三豊市立仁尾小学校
令和6年度	令和6～7年度	「主体的・対話的で深い学びを目指した授業づくり」 －個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けたICTの効果的な活用法－	丸亀市立綾歌中学校

## ●研究発表会の開催

- 日 時／令和6年11月13日(水)
- 開 催 校／三豊市立仁尾小学校
- 参 加 者／教育関係者、赤十字関係者、一般参加者等 113人







高松赤十字病院は、明治40年6月1日に日本赤十字社香川支部病院として設立されて以来、医療法における公的医療機関として地域医療の中核を担うとともに、災害時には医療救護活動の重要な拠点として地域医療に貢献してきました。また、急性期・高度急性期型医療施設として、DPC(包括医療支払制度)への対応、地域がん診療連携拠点病院の指定、7対1の看護基準の取得、地域医療支援病院の承認、地域周産期母子医療センターの認定や手術支援ロボット「ダヴィンチ」の2台体制、MRI3テスラ、最新鋭320列CTの導入や、電子カルテの更新、造血幹細胞・腎臓の移植医療に関する診療基盤の整備、TAVI(経カテーテル大動脈弁留置術)、Mitra Clip(経皮的僧帽弁クリップ術)認定等、診療機能の強化を図ってきました。

令和2年4月からは新棟である本館北タワーが稼働開始となり、半導体PET-CTやIVR-CT、高度放射線治療機器など高度医療機器を整備拡充しており、更なる診療機能の強化、業務の効率化を図り、高度専門医療を提供する公的病院として質の高い医療の提供に努めています。令和6年度には本館6、7階の改修工事を行い、本館6階には化学療法室等を設置し、がん総合診療センターを令和7年5月よりオープンする予定です。

●**病床数** 507床(一般病床505床 結核病床2床)

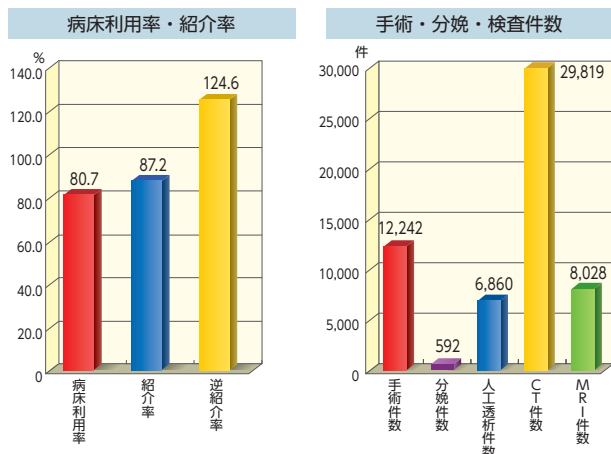
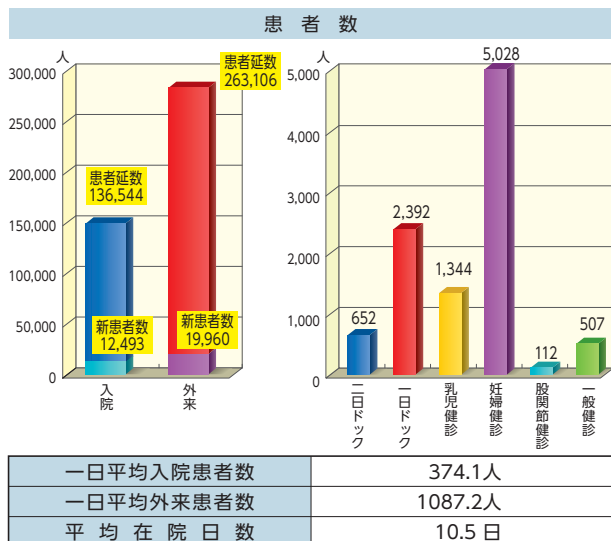
## ●診療科目

内科、血液内科、腫瘍内科、腎臓内科、内分泌・代謝内科、消化器内科、消化器・肝臓内科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科、膠原病・リウマチ内科、感染症内科、小児科、消化器外科、胸部・乳腺外科、小児外科、脳神経外科、脳卒中外科、心臓血管外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、腎臓外科(臓器移植)、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、精神科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、放射線科、病理診断科

## ●職員数 (令和7年3月31日現在)

- 医 師 224人 ●医 療 技 師 179人
- 看護師・助産師 589人 ●事 務 職 員 179人
- そ の 他 職 員 59人

## ●業務実績 (令和6年度)



## ●主な指定、施設基準

- 災害拠点病院(地域災害医療センター)
- 病院群輪番制第二次救急指定病院
- 臨床研修指定病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域医療支援病院
- 産科医療補償制度加入機関
- 地域周産期母子医療センター
- 急性期一般入院基本料1
- 総合入院体制加算2
- 医療安全対策加算1
- 感染対策向上加算1
- 特定集中治療室管理料6
- 新生児特定集中治療室管理料2
- 医師事務作業補助体制加算1
- 急性期看護補助体制加算
- 無菌治療室管理加算1
- 医療DX推進体制整備加算

## ●その他認定取得

- (財)日本医療機能評価機構認定施設
- 卒後臨床研修評価機構認定施設
- 看護師の特定行為研修指定研修機関
- ISO15189(臨床検査室)

## ●診療基盤整備

### ①医師確保

- 救急科、集中治療科、麻酔科、整形外科、小児科、消化器外科、肛門外科、眼科、総合内科、放射線(診断)
- 専攻医  
内科専門研修プログラム、外科専門研修プログラム
- 初期、後期研修医の確保  
令和6年度 初期21名、後期2名

### ②看護師の確保と育成

- 新人看護師、新人助産師及び看護師の教育体制の充実  
令和6年度 新人看護師38名(助産師4名を含む)



- 認定看護師、専門看護師など専門分野における高度な知識、技術を有する看護師の育成  
令和7年3月31日現在  
認定看護師31名、専門看護師2名
- 特定行為研修修了看護師の配置  
令和7年3月31日現在 31名
- 病棟クランク(看護業務の事務支援スタッフ)の拡充  
令和7年3月31日現在 8名

### ③医療スタッフの確保と適正配置

- 薬剤師によるチーム医療、各種指導体制の強化
- 臨床検査技師による検査部門の充実と患者サービスの向上
- 放射線科技師による放射線治療及び画像検査体制の充実
- 作業療法士(OT)、理学療法士(PT)、言語療法士(ST)による急性期リハビリ体制の充実、土曜リハビリの完全実施、日、祝日リハビリの拡充
- 臨床工学技士による手術、透析、心臓カテーテル支援の充実、医療機器の中央管理
- 管理栄養士による栄養サポート、栄養指導体制の強化

### ④病診・病病連携の強化

- 患者サポート室のさらなる充実  
地域連携、入退院支援、総合相談の3部門体制
- 逆紹介の推進(令和6年度逆紹介率124.6%)
- 入退院支援部門の多職種による機能強化
- 地域連携機関とのホットラインの運用強化  
(循環器内科、脳神経外科、泌尿器科等)
- 「高松赤十字病院地域連携フォーラム」の開催
- m3.com(医療従事者専用サイト)を活用した地域医療機関との連携強化

### ⑤診療部門および各センターの体制整備と機能強化

- 救急、ICU/HCU、救急病棟
- 総合血管治療センター、高度生殖医療センター、消化器センター、呼吸器センター、腎臓病総合医療センター、ロボット手術センター
- 手術・中央材料部、高度心不全治療部、臨床遺伝診療科部、健診科部

### ⑥各診療部門の体制整備

- 看護部、薬剤部、放射線科部、検査部、超音波診療センター、リハビリテーション科部、医療技術部(臨床工学課)、栄養課

### ⑦医療機器の整備

- 各年度整備機器
- 高額医療器機の整備(アンギオ装置、CT装置 他)

### ⑧診療補助体制の整備

- 医師事務支援体制の強化(医師の外来業務負担軽減)  
令和7年3月31日現在、外来クランク38名
- 医療系助手の活用
- タスクシェア、シフトの検討

## ◎診療の質の向上

### ①チーム医療の推進

- 多職種参加ミーティングの効率化、文書管理
- 医師の働き方改革推進

### ②臨床指標の導入と検証

### ③診療録管理体制

### ④医療安全体制

- インシデント報告の分析、検討、再発防止策の策定
- 医療安全に関する教育・研修
- 医療事故発生時の迅速な対応、調査、対外的交渉を含めた統括管理
- RRS(院内迅速対応システム)の構築
- 転倒・転落予防対策ワーキンググループの設置
- 医療安全対策の地域連携による相互評価
- 医療安全研修受講率向上の取り組み
- 医師のインシデント報告件数を増やす
- 院内暴言・暴力への対応

### ⑤院内情報セキュリティの強化

### ⑥院内感染防止対策

## ◎患者サービスの向上

### ①患者への情報提供

- ホームページの充実
- 患者向けガイドブックの発行
- 地域向け広報誌「なんがでっきょん」のリニューアル
- SNS(インスタグラム、フェイスブック)での発信

### ②外来待ち時間改善対策

- ホスピジョン(患者番号案内表示システム)

### ③接遇向上

### ④患者満足度の向上

### ⑤地域住民とつながる健康相談・教育

### ⑥病院へのアクセス

- 日赤シャトルバス

### ⑦アメニティーの向上

- 患者Wifiの整備

### ⑧コンジェルジュの配置

## ◎災害医療体制の強化

### ①備蓄材料の確保と保管(定期的な見直し)

### ②BCP(事業継続計画)の改訂

### ③北タワー完成後の本格的訓練実施

### ④救護体制の強化と積極的な参加

## ◎医療人の教育体制整備

### ①各種研修、セミナーの出席率向上対策

### ②勤務評定制度の運用

### ③職員の専門能力の向上



小児用救急車(令和6年度公益財団法人JKA補助金)



循環器用バイプレーションアンギオ装置



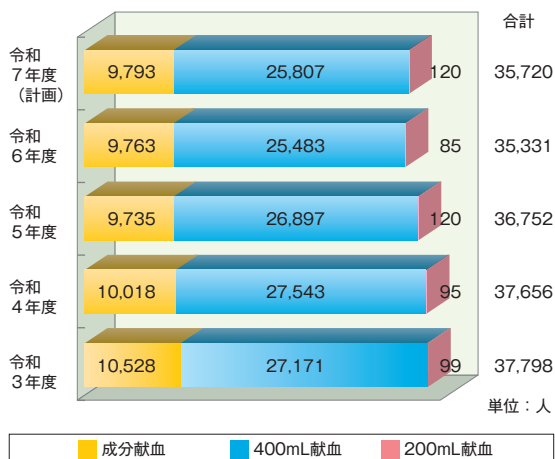
320列CT



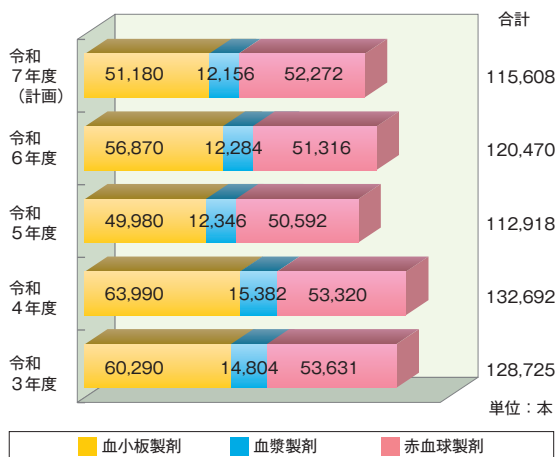


「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」により、行政の定める献血推進計画に基づき、献血受入計画を作成し、安全な血液製剤の安定供給に努めています。また、各献血協力団体との連携の強化はもとより、広報活動の充実に努め、さまざまなキャンペーンや広報を通じて県民の皆様に献血思想の普及、啓発を図っています。

## 1. 県内献血実績（人）



## 2. 県内輸血用血液供給実績（200mL換算本数）



## 3. 献血稼働実績

	献血バス	一台平均数	献血ルーム	一日平均数
令和7年度（計画）	318台	55.0人	361日	50.4人
令和6年度	318台	53.6人	359日	51.0人
令和5年度	322台	56.7人	362日	51.1人
令和4年度	341台	55.6人	360日	51.9人
令和3年度	322台	58.1人	361日	52.9人

## 4. 「全国学生クリスマス献血キャンペーン」

学生献血ボランティアが主催し、学生を中心に献血の輪を拡大することを目的に昭和63年から実施され、本県においてもアイデアを凝らしたイベントを令和6年12月3日から25日にかけて実施しました。

## 5. 「はたちの献血キャンペーン」

冬季における輸血用血液の安定確保を図るため、令和7年1月1日から2月28日までの2ヵ月間、「はたち」の若者を中心に広く県民に向け献血推進キャンペーンを実施しました。

## 6. 「若年層への普及啓発」

少子高齢化による献血者減少に対応するため、主に将来の献血を担う10代を中心とした若年層世代を対象に献血について正しい知識の習得や、助け合いの精神を育成すること等を目的とした「献血出前セミナー」や「血液センターでの見学学習」を実施し、若年層への献血に関する知識の普及啓発活動を行いました。

## 7. 「献血Web会員サービス『ラブラッド』の推進」

献血Web会員サービス「ラブラッド」への登録を推進するとともに、「アプリ版献血カード」や「事前Web問診回答」、「献血予約」等の機能を導入したラブラッドアプリを活用し、定期的に献血への再来を促すよう取り組みました。特に若年層献血者の確保に向け積極的にPR活動を行いました。

## 8. 「献血協賛企業活動の推進」

献血活動への理解と協力並びに社会貢献活動の象徴として作成したロゴマーク「献血サポーター」を、献血協力企業及び団体に活用してもらうことにより、献血活動を広く一般社会に周知するとともに、企業・団体の行う献血活動の普及・拡大を推進しました。

## 9. 「各種媒体による広報」

献血へのより一層の推進を図るため、献血ルーム「オリーブ」を中心に、FMラジオ、地元タウン情報誌、ホームページ等の各種情報媒体を活用した広報を実施しました。

香川県赤十字血液センター

〒761-8031 高松市郷東町字新開587-1 TEL 087-881-1500

献血ルーム「オリーブ」

〒760-0029 高松市丸亀町13番地3 高松丸亀町参番街東館3F TEL 087-821-2300

【献血受付時間】 全血献血／9：00～12：30 13：30～17：00  
成分献血／9：00～12：30 13：30～16：00





# 赤十字思想の普及

社業の進展を図るためには、多くの方々に赤十字の趣旨と活動についての理解と認識を深めていただくことが肝要です。

そのために県内各地で行った救急法等の講習会をはじめ、諸会合等あらゆる機会をとらえて広報活動に努めました。

また、テレビ、ラジオ、新聞などの報道機関や市町広報の協力を得て、赤十字会員増強運動月間、義援金の受付、献血キャンペーン、救急法等講習会のPRを実施しました。

## 赤十字思想の普及

### ◎「赤十字フェスタ2024」の開催

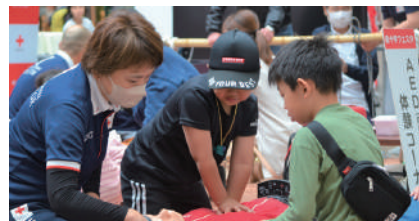
5月8日の世界赤十字デーを中心に、広く県民に赤十字を理解してもらうことを目的に、「赤十字フェスタ2024」を開催し、次のとおり赤十字思想の普及啓発キャンペーンを実施しました。

- 主 催／日本赤十字社香川県支部、高松赤十字病院、香川県赤十字血液センター
- 日 時／令和6年4月29日（月・祝） 11:00～15:00
- 場 所／高松丸亀町老番街前ドーム広場
- 内 容／・保健師による健康相談・体力測定コーナー 握力・血圧・体脂肪測定  
・献血コーナー 献血ルーム「オリーブ」にて献血の呼び掛け  
・講習体験コーナー 災害時に役立つ救急法、ロープワーク等体験  
・リラクゼーションコーナー  
・キャンペーンコーナー  
・令和6年能登半島地震での災害救護活動等の写真展示  
・子ども用救護服試着体験、記念撮影  
・香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団のバイク展示・活動紹介
- 参加協力／香川県立高松南高等学校、尽誠学園高等学校
- 参 加 者／赤十字ボランティア等 98人  
一般来場者 約 1,800人



なお、当日の赤十字ボランティア等による募金は57,315円となりました。

これらは全額、国内外で苦しむ人々の支援を続けるために、赤十字の活動資金として有効に活用させていただきました。



### ◎「世界救急法の日(World First Aid Day)」記念イベントの開催

9月の第2土曜日は、国際赤十字・赤新月社連盟が世界統一のキャンペーンとして定めた「World First Aid Day」（世界救急法の日）であり、記念イベントを実施し、高松赤十字病院「県民公開講座」を開催するとともに、参加者に一次救命処置の重要性について認識を深めていただく機会を提供しました。

- 主 催／日本赤十字社香川県支部、高松赤十字病院
- 日 時／令和6年9月7日（土） 10:00～11:50
- 場 所／香川県社会福祉総合センターコミュニティホール
- 内 容／・高松赤十字病院「県民公開講座」  
演題 「あなたはもうAEDを使えますか？」  
講師 高松赤十字病院 第二救急科部長兼第二集中治療科部長 山内 英雄 氏  
・心肺蘇生体験講習（AEDの体験を含む）及び災害時に役立つ代用品やリラクゼーション体験
- 来 場 者／126人







# 香川県赤十字有功会

## ●香川県赤十字有功会総会の開催

有功会は、赤十字を理解し、赤十字の活動資金である会費を拠出いただき日本赤十字社有功章等を受章された方々により赤十字の有力な支援団体として赤十字思想の普及と事業の推進等を図るため結成された組織です。香川県赤十字有功会は平成16年に結成されました。

令和6年度の総会は、7月25日(木)に開催され、会員並びに赤十字関係者総勢51人が出席し、赤十字活動の支援、赤十字精神の普及・啓発を中心とした事業計画等が承認されました。また総会に先立ち、赤十字に多額の活動資金の寄託がありました方々に池田豊人支部長から有功章等の表彰伝達が行われました。

また、総会終了後、講演会を開催し、本社事業局救護・福祉部長の磯 則和氏から「日本赤十字社の災害救護の現状とこれからの救護活動について」と題した講演が行われました。

- 会 員 数／個人 47人 法人 103社
- 総 会 日 時／令和6年7月25日(木)
- 場 所／高松国際ホテル
- 参 加 者／51人
- 厚生労働大臣感謝状／個人 2人
- 社長感謝状／個人 4人 法人 5社
- 金色有功章／個人 11人 法人 10社
- 銀色有功章／個人 12人 法人 71社



有功会県外視察旅行は、高知県中土佐町を訪れ、南海トラフ巨大地震が発生し、津波に襲われた際に約400人の住民が避難できる第1号津波避難タワー等を視察しました。

- 日 時／令和6年11月26日(火)
- 場 所／高知県中土佐町他
- 参 加 者／会員他 28名





## 評議員会

評議員会は、会員（法人が会員の場合は、その法人を代表する役員）の中から選出された評議員をもって組織されます。

評議員会は、支部の重要な業務について審議するほか、支部長の諮問に答えます。

令和6年度は、令和6年6月5日（水）、令和7年2月7日（金）の2回開催され、香川県支部、高松赤十字病院、香川県赤十字血液センターの令和5年度事業報告、決算、令和7年度事業計画、予算等が承認されました。

### ●日本赤十字社香川県支部役員名簿

※評議員任期 令和7年2月14日～令和10年2月13日

（令和7年3月31日現在）

職 名	氏 名	地 区 別	職 名	氏 名	地 区 別
支 部 長	池 田 豊 人		評 議 員	塚 本 詩 乃	丸亀市地区
副 支 部 長	大 山 智		//	近 藤 武 司	//
監 査 委 員	蓮 井 明 博		//	松 浦 佳 子	坂出市地区
//	泉 川 雅 俊		//	高 畑 光 宏	善通寺市地区
//	矢 野 基 樹		//	挽 田 公 孝	観音寺市地区
評 議 員	角 田 朝 則	高松市地区	//	國 方 登 久 枝	さぬき市地区
//	稲 毛 和 子	//	//	山 地 和 子	東かがわ市地区
//	中 村 絹 代	//	//	植 岡 澤 江	三豊市地区
//	林 茂 子	//	//	岡 野 能 之	小豆地区
//	多 田 廣 子	//	//	伊 藤 良 春	東讃地区
//	筒 井 千 江	//	//	谷 川 俊 博	中讃地区
//	國 井 和 世	//	//	片 岡 英 樹	//
//	伊 藤 洋 子	//	//	多 田 和 仁	支部長選出
//	日 比 野 玲 子	//	//	久 米 川 啓	//
//	河 野 佳 代	//	//	川 部 英 則	//
//	岩 崎 正 朔	丸亀市地区	//	市 原 茂 幹	//



## 決算概要

### ●令和6年度一般会計（香川県支部）歳入・歳出決算概要

科 目	決 算 額 (円)	構成比 (%)	科 目	決 算 額 (円)	構成比 (%)
社資収入	174,644,250	59.2	災害救護事業費	21,909,256	9.2
一般社資収入	139,978,570		救護看護師養成費	3,660,000	1.5
・会費収入	123,935,290		救急法・健康生活支援講習等講習普及費	27,601,207	11.6
・寄付金等収入	14,043,280		奉仕団活動費	3,492,674	1.5
・指定事業社資収入	2,000,000		青少年赤十字活動費	2,914,930	1.2
法人社資収入	34,665,680		地域(市町)における赤十字活動費	18,704,000	7.8
・その他社資収入	34,665,680		赤十字運動普及・会員増強費	19,003,921	8.0
委託金等収入	2,717,841	0.9	医療施設基盤整備交付金	990,000	0.4
本社からの事業交付金	4,493,091	1.5	血液事業基盤整備交付金	499,620	0.2
繰入金収入	47,693,276	16.2	国際救援活動費及び本社事業費	26,624,163	11.2
資産収入(香川県への土地貸付け等)	5,300,501	1.8	資金積立金(災害等・国際救護活動・施設整備準備積立金)	71,567,000	30.0
救急法・健康生活支援講習等講習教本代等収入	7,207,266	2.4	資産管理費	3,000,112	1.3
前年度繰越金(年度当初事業資金)	53,136,309	18.0	事業管理運営費	38,491,970	16.1
歳 入 合 計	295,192,534	100.0	歳 出 合 計	238,458,853	100.0

歳入歳出差引（翌年度当初事業資金）56,733,681円



## 日本赤十字社の使命

わたしたちは、  
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、  
いかなる状況下でも、  
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

## わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

## わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、  
人道の実現のために、  
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、  
人の痛みや苦しみに目を向け、  
常に想像力をもって行動します。

# 赤十字は、 動いてる！

赤十字は、最前線に立つ人、それを背後で支える人、そして何よりも、  
活動を寄付で支援して下さる人、関わるすべてのみなさん一人ひとりと動き続けています。  
人間のいのちと健康、尊厳が守られる世界を信じて。これまでも。これからも、ずっと。



一緒に、救える。TEAM  
**SAVE365**



**日本赤十字社** 香川県支部  
Japanese Red Cross Society

〒760-0017 香川県高松市番町一丁目10番35号  
香川県社会福祉総合センター内  
TEL 087-861-4618 FAX 087-862-7010  
E-mail : nisseki@kagawa.jrc.or.jp  
ホームページ : <https://www.jrc.or.jp/chapter/kagawa>

日本赤十字社香川県支部

検索

